

常任委員会

CAP3素案について議論

総務委員会

小山 征三 委員長

所管事項の「出資法人等に関する定期調査の結果について」及び「(仮称)CAPプログラムパート3素案について」の2項目について報告、説明がありました。

このうち、「(仮称)CAP(キャップ)プログラムパート3素案について」では、新たに、子供、若者、子育て世代などの多様な主体を巻き込んだ日常的なにぎわいづくりの取組を展開していくこと、既存の拠点施設や商店街との連携、ネットワークなどにより人の流れづくりに取り組むこと、平成29年3月末を目標に策定作業を進めることなどが示されました。



街の活性化が期待されるキャップ

「鳥インフルエンザ」の発生
について」質疑が集中

厚生委員会

神山 哲太郎 委員長

所管事項の「国民健康保険法に基づく国保事業費納付金の仮算定結果について」「鳥インフルエンザの発生について」の2件について審議しました。鳥インフルエンザの発生については、初めに、担当部局から経過と詳しい内容の説明がありました。各委員から人体に与える影響、ペットや家畜に感染する可能性、予防や対応についてなどが質疑されました。今回、市としては、初めて発生した高病原性鳥インフルエンザということで市民周知、監視の強化、注意看板の設置、道の駅出入口に消毒マットや看板の設置などで対応したとの答弁がありました。また、野鳥の死骸などを発見した場合は速やかに市へ連絡してほしいとされています。



厳戒態勢が続いたウトナイ湖畔

給食への異物混入問題
などを議論

文教経済委員会

矢嶋 翼 委員長

所管事項の「学校給食献立の一部中止について」魚バグにプラスチック片、豚肉に金属が混入し使用を中止しました。今後、安全な品質管理の徹底を図ると説明があり、質疑で原因究明と再発防止を指摘しました。次に「公務補・事務補の基本的配置方針について」公務補は各校に一人の配置が必要、事務補は非常勤職員を配置すると説明があり、質疑で公務補をグループ化し共同で作業をした、外部委託をするべきとの意見が出ました。



細心の注意が求められた学校給食

「耐震診断C判定の市営住宅の
今後の方針について」などを議論

建設委員会

竹田 秀泰 委員長

「ウトナイ地区新設中学校を初めとする今後新築・改築する公共施設の一般用途熱源としてのLPGガス採用に関する陳情」を審議した結果、陳情の趣旨は理解できるとして、「趣旨採択」としました。所管事項「耐震C判定市営住宅の今後の方針について」担当部より説明があり、各建物の方向性が示されました。同じく、「市営住宅入居停止に関する説明会の報告について」担当部より、入居停止した建物の入居者に対する説明会の報告を受けました。



用途廃止の方向性が示された市営住宅